教区新報 HONYOGO

'98 RENNYO-SHONIN BIG FESTA 500

発行所 浄土真宗本願寺派　兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通８丁目１番１号
（本願寺神戸別院内）
電話 神戸（078）341－5949㈹
〔編集〕教区基推委広報部

1996.12.108号

仏婦71人が石川訪問

願成寺・金沢別院で交流

一泊研修

十一月二十一日早朝、神戸駅前と姫路駅前を二台で出発。深まりゆく美しい秋の山々を背景に北陸路、石川県鹿島郡の願成寺へ参拝。ご住職、教区仏婦連盟委員長、単位仏婦会長のご挨拶と日曜学校に通う十名の歓迎の演奏、十三名の日校生が一節ずつ歓迎の言葉を言ってくださいました。

「二年前の阪神・淡路大震災は、本当に驚きました。多くの人が亡くなられ、けがをされ、たくさんの建物が壊れ、とても悲しい出来事でした。私達と同じ日校生も自分の家が被害にあったり、日校のあるお寺が壊れたり、辛いことがたくさんあったと思います。今度、兵庫県から皆さんがおいでになるというお話を聞き、私達は兵庫県の日校生の皆さんに、自分のできる励ましの気持ちを学用品として贈らせてもらおうと相談しました。わずかですが、日校生の皆さんへのエールの気持ちです。」とプレゼントを預かりました。仏婦の皆様からも手作りの輪島塗りの「合掌はし」を頂戴して、一同は、感激一杯でございました。

願成寺日校生からプレゼントされる仏婦委員長

その夜は、能登では有名な加賀屋に宿泊しました。土基前所長を送る夕べとして、楽しいひと時を過ごしました。参加者七十一名全員が、加古川組の三軒満子さんの振り付け指導で、炭坑節の替え歌を輪になって踊り、うちとけた雰囲気のうちに宴会を閉じました。

明けて二十二日、波高い千里ケ浜の波打ち際を走り金沢別院に参拝。立派にお荘厳されたご本堂でお話を伺いました。

少し遠かったけれど充実した研修旅行だったと想い出しています。素晴らしい人々との出会い……いろんな出来事との出会い……そしてこのご勝縁を喜び、お慈悲の中でお育ていただいているこの実感、いのちの尊さをありがたく味あわせていただきました。

願成寺若坊守さまからのお便りを終わりに書き留めさせていただきます。

「皆さまからの大きな拍手をいただき、子ども達もとても素晴らしい経験をさせていただいたと喜ばせていただいております。本当にありがとうございました。願成寺　藤田千尋」

（仏婦連盟委員長 木村久子）

「あなたからもらった物は数多く返せる物はとても少ない」これは「日本一短い母への手紙」に寄せられた三万二千余通の中から特別賞に選ばれた大和田早都美さん、二十一歳の作品である◆物の豊かさの中で、心の貧しさが問われて久しい。豊かさの中に埋もれた暮らしの中で、もったいない、お蔭さまという思いが随分と薄らいでいる私自身の生き方こそ厳しく問われなければならない◆見えない世界に目を注ぐことを仏教では「観」という。即ち「観の目を持つ」ことを大切とする◆み仏の光を仰ぐとき、生きている私がそのまま、あらゆるいのちをいただいて生かされている私であったと味わえるのではないか◆時まさに宗祖のご遺徳を偲ぶ、お取り越し報恩講の季節、聖人のご生涯をしのび、遇い難いみ教えに遇い、支えられて生かされていることに感謝させていただく最も大切な法要、今こそ声高らかに「恩徳讃」を唱和しつつ報恩の集いの意義をより深めたい。（松上隆彰）

教区だより　12・1月

13日（金）
新旧所長・輪番歓送迎会　チサンホテル神戸
蓮如上人500回遠忌法要・第２回御同朋総結集大会企画委員会　１時
門徒総代会研修会　１時半
14日（土）
別院永代経開闡法要　１時半
14日（土）～15日（日）
仏壮連盟幹部一泊研修会　別院
15日（日）～16日（月）
別院常例法座　森田　智師　１時半
18日（水）
布教団役員会・懇親会　１時半
門推幹事会・懇親会　１時半
21日（土）～22日（日）
スカウト仏教章取得講習会　別院
22日（日）
江並教堂報恩講　西脇　修師　江並教堂
25日（水）
組長会　２時
九折総務・菅理事祝賀の集い　４時
26日（木）
震災支援「少年連盟報恩講子どもの集い」　別院
27日（金）
仏青年忘れヤングひろば　姫路中組法性寺
28日（土）
別院・教務所事務終了式　別院
31日（火）
別院除夜会　11時半
１月１日（水）
別院元旦会　７時
８日（水）
別院・教務所事務開始式　別院
11日（土）
須磨ノ浦女子高等学校竣工式　10時
12日（日）
本山成人式　本山
14日（火）
別院永代経開闡法要　１時半
15日（水）～16日（木）
別院常例法座　村井　丹師　１時半

理事・法要式典・参拝本部長に　総務　九折舜壽師
理事・修復準備事務所長に　菅　義成師

十月一日付けで、教区選出宗会議員の菅義成師（網干組聖安寺）が、蓮如上人五百回遠忌法要事務所理事・本願寺御影堂修復準備事務所長に就任した。

十二月一日付けで、教区選出宗会議員の総務の九折舜壽師（揖龍西組正専寺）が、蓮如上人五百回遠忌中央法要事務所理事に就任。法要式典本部長・参拝本部長に指名された。

法語掲示板 ―― ひとくち法話 ――

著者　杉本顯俊

「生は遇然であり、死は必然である」
死にゆく者同士が、互いに、念仏の手を執り合おう。
（同書から）

著者は阪神北組光圓寺に生まれ、龍谷大学予科を経て金沢大学医学部を卒業。昭和二十七年に医学博士。大阪大学助教授、広島大学教授、住友病院病理部長を歴任され専攻は病理学・口腔病理学で、現在は同病院嘱託医として活躍されている。また日本ボーイスカウト宝塚第五団団委員長としてスカウト活動にも従事されてきた。

本書は、過去三十年間に著者が毎月自坊の掲示板に掲示された法語の中から、百題を選びその法語と「一口法話」を合わせて一冊の本にまとめられたもの。著者の医学や科学の観点で、仏教を見、お念仏を味わっておられる法話にウーンとうなずかせられる。そのまま引用・転載は自由とのこと、ご寺院の掲示板に活用されてはいかがですか。

ほかに『お念仏と科学』（探究社）歌集『赤色赤光』（同）『仏のこころに遇う』（同）がある。

（B6判二百八ページ・定価千八百円。探究社）

生誕　赤穂南組YBA

赤穂南組では、教区少年連盟サマースクールのスタッフとして参加している寺族の青年や高校生を中心にして「赤穂南組YBA」を発足した。会長は、大口美樹さん（安養寺門徒）で、男性3名、女性8名の会員が集まった。会則も決まり月一回の例会をもち、学習と相互の交流を深める。事務局は、宝専寺東院（斯波隨覚住職）が当り、組内の若手僧侶が参画と相談役を務めている。組内だけに限らず、近隣組の青年の入会も勧めている。

赤穂南組YBA発会に伴い、教区仏青連盟では、同会員が参加しやすいようにと、十二月二十七日（金）午後四時から、姫路中組法性寺（池本史朗住職）を会場として「年忘れヤングひろば」を開催する。会費は二千円。問い合わせは、教務所（担当長尾）まで。

――＊――

建設懇志進納総額
二十四億三千二十三万三千四十円
（96年11月30日現在）

敬弔

山本信哲師（やまもと・しんてつ＝氷上東組西福寺衆徒）十月二十二日、八十二才で往生。葬儀は十月二十四日、氷上郡市島町の自宅で。「誠心院釋信哲」。

榊原宗宣師（さかきばら・そうせん＝姫路東組教岸寺前住職）十一月十二日、八十才で往生。葬儀は十一月十四日、教岸寺で。「誓照院釋宗宣」。昭和二十二年より平成五年まで住職在職四十七年。

杉本綾子さん（すぎもと・あやこ＝播磨中組安楽寺前坊守）十一月十二日、九十一才で往生。葬儀は十一月十四日、安楽寺で。「香徳院釋尼栄誓」。

府川宏音師（ふかわ・こうおん＝姫路中組光蓮寺前住職）十一月二十三日、七十七才で往生。葬儀は十一月二十五日、光蓮寺で。「諦聴院釋宏音」。昭和十四年より平成四年まで住職在職五十四年。また、昭和四十年より組長を一期。昭和四十八年より組長を二期。昭和二十七年より副組長を一期。昭和三十二年より副組長を一期務めた。

土基さんありがとう

教区会議長　田中法劔

神戸別院・兵庫教区教化センター完成記念慶讃法要で、教区を挙げて喜びに沸きかえっている最中に、最もご苦労を頂いた土基所長様が退任なさるとの報に、耳を疑うばかりに愕然といたしました。

思えば、永い間の懸案が結実して、教区内に説明して廻り、全寺院の門徒代表を別院に招いて、総参拝研修会を始めようとする時、所長の更迭が行われました。それも教区の危急存亡の重大時機に、是非有力な所長を配置して頂きたいと本山に要請して赴任して頂いたことでありました。

総代の総参拝が終わると別院施設の除却・新築について、本山のご認許を受ける手続きがあり、更に別院復興のご消息を頂いて、各組へのご消息披露が始まり各寺院の懇志の依頼も始まりました。

赴任されて以来、一日として寧日なく、東奔西走の日が続いたことでありました。いよいよ建設が始まりますと、仮事務所に引っ越して、手狭まな環境で不自由を忍びながらの執務であります。平成五年十二月、別院の解体作業が始まり、本格的な工事に入りますと次々に建設関係、仏具荘厳関係の相談があり、それが

まとまりますと、各業者との契約があります。重大な責任のかかる仕事が毎日のように続きました。

そのような大変な時期に突然襲いかかってきたのが阪神・淡路大震災でした。プレハブの軽い建物ですから、仮事務所は倒れこそしなかったものの、ロッカーや書棚は倒れて書類も諸道具も散乱して大被害を受けた上に、水道、ガスも停止して、一般被災者と同じ生活が始まったのです。その中で、職員を督励して、本山との連絡や被災寺院の確認や救援物資の配布など……当時の状況を知る者は、そのご労苦の如何ばかりであったか、とても推測することのできないものがあったと存じております。

本山での災害対策委員会での陳情、ご門主さま、総長さまの現地お見舞いのご案内など、本当にご苦労さまでした。その時の被災寺院の住職からの所長に対する厳しい非難めいた言葉をじっと耐えて聞いておられたあの時の苦衷を左右も辛かったことだろうとお察ししております。動くに動けない仮事務所の中での思いを誰が理解できるでしょう。

平成七年九月の竣工式を迎えた時は、本当によくぞやって頂いたと感謝の思いが込み上げたことでありました。その後、被災寺院への対策やら、業者への支払やら、何度も本山へお願いに上ることがありました。その間にあって、よく冷静に事務を処理し、的確なご指導を頂いて、教区が混乱することもなく整然と歩調を揃えて復興再建に努力できたことは幸せであったと存じております。

本年十月、ご門主さまを迎えての落慶御親修法要は土基所長様がいられたからこそ、立派にできたのだと思います。ようこそお世話になりました。ありがとうございました。

新所長に高橋廣爾師

高橋師

土基師

このたび、十一月十五日付にて、兵庫教区教務所長並びに神戸別院輪番の重職を拝命し着任いたしました。

ご法義の篤い当地に奉職させていただきますこと、何よりの喜びでありますが初めての地であり、不安とときめきが交錯しております。

今や宗門は、愈々、平成十年にお迎えする蓮如上人五百回ご遠忌を指標とし、さらには来世紀初頭の宗祖親鸞聖人七百五十回大遠忌を展望のもと、諸種の計画が推進されております。

教区別院におきましても完成なった別院・教化センターが、聞法と教化の拠点としての機能を発揮して、大震災はじめさまざまな苦悩を切り開いて行こうとされる念仏者の方々のこころの拠り所となるよう内容の充実を計らねばなりません。

また、基幹運動推進のための第三次基本計画の策定と実働、大震災による被災ご寺院への支援態勢などが当面の課題と承っております。

この重要なる時局に鑑み責務の重さを痛感いたしておりますが、この上は微力ながら、正法弘通のため、努力いたす所存でありますので、何卒よろしくご指導ご鞭撻賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

一々ご拝眉の上、ご挨拶申し上ぐべきところ、就任に当り一言紙上をいただきご挨拶とさせていただきます。

（略歴）

一九三三年生れ。前安芸教区教務所長・広島別院輪番。山口別院副輪番、北豊教区教務所長・鎮西別院輪番等を歴任。

山口教区美祢東組光明寺前住職。

阪神東組コーラス披露

HO日誌

◆11月1日＝安芸教区広島北組専隆寺より別院に団体参拝◆第11回世界仏教婦人会大会打ち合わせ会が本山で。木村久子委員長と担当者が出席◆2日＝第一土曜仏教講座を別院で。講師は太田信隆師（関西芸術短期大学教授）テーマは「慈と悲の風景」◆赤穂北組浄光寺仏壮より別院に団体参拝◆近畿ブロック仏青連絡協議会が津村別院で。別所麻美委員長と担当者が出席◆4日＝岐阜教区中川西組光顕寺より別院に団体参拝◆職員の山内理史さんが野崎日登美さんと自坊（北摂組正行寺）で結婚式◆5日＝震災支援の会を別院で◆6日＝ボランティア検討委員会が本山で◆7日＝別院仏婦定例法座。講師は田中英明師（神戸湊組光明寺）◆備後教区備中里組専教寺より別院に団体参拝◆門推幹事会を別院で。第25回研修会（2／23）について、門推結成十周年記念行事（明年）について◆西播常例線打ち合わせ会が有馬・御所坊で。所長と担当者が出席◆8日＝第二次基本計画総括及び第三次基本計画草案作成委員会を別院で。実態調査アンケート案について◆備後教区世羅組明善寺より別院に団体参拝◆9日～10日＝仏青中央研修会が大谷本廟で。別所麻美委員長が出席◆9日＝モダン寺土曜子供会を別院で◆10日＝阪神東組香華コーラスの十周年記念コンサートが、被災後新築された福円寺本堂二階のホール「楽精舎・響流」で。コスモスの花など仏教讃歌12曲と「聖夜」の歌唱指導、歌と踊りの「キュキュキュ音頭」「新真宗音頭」、お揃いの紫のドレスに着替え、童謡・唱歌・四季のメドレーを36曲と二十余名の素晴らしいハーモニーを二百余名の観客に披露した。香華コーラスは、同組若婦人会（山田かおる会長）を母体に仏教讃歌を通して親鸞聖人のみ教えに親しみ味わってもらうことを目的に、組画変更された昭和六十年に発足（当時杉本照美会長）し、指導を阪田弘子先生、伴奏を西本恭仁子先生が当り、本山御堂演奏会や伊丹市民合唱祭等を中心に幅広い活動を続けている。

聖夜を歌う香華コーラス

教区内には15団体が仏教音楽研究所に登録◆佐用組法覚寺仏壮より別院に団体参拝◆11日＝ビハーラ兵庫研修会を別院で。講師は西光義敞師（真宗カウンセリング代表）。テーマは、「育ち合う人間関係」◆別院責任役員総代世話人会を別院で。別院報恩講厳修について◆復興支援の会を別院で◆12日＝四州教区高知組高蓮寺より別院に団体参拝◆13日＝長島愛生園追悼法要に所長と担当者が参列◆教区蓮如上人五百回遠忌法要・第二回御同朋総結集大会企画準備委員会を別院で◆14日＝別院永代経開闡法要◆15日＝人事発令。高橋廣爾師が安芸教区教務所長・広島別院輪番から着任。土基議教師は宗務所出仕となり自坊（滋賀教区護法組正福寺）に。（二面に別記）◆15日～16日＝別院常例法座。講師は葦原正春師（氷上東組西現寺）◆矯正幹事会を別院で◆指定寄付研修会が神戸東組光円寺で◆星陵台中学校が別院を見学◆16日＝大阪教区大阪東組長願寺より別院に団体参拝◆18日＝復興支援の会を別院で◆19日＝姫路東組宝仙寺より別院に団体参拝◆21日～22日＝教区仏婦連盟研修旅行を石川方面に◆21日＝教務所長会が本山で◆阪神西組光明寺飛雲殿での震災犠牲者納骨法要に赤松賛事が参列◆23日＝山陰教区因幡組願正寺より別院に団体参拝◆神戸東組照光寺本堂竣工式に赤松賛事が出席◆25日＝大阪教区豊島北組善福寺仏婦より別院に団体参拝◆佐用組法覚寺仏婦より別院に団体参拝◆長島愛生園・邑久光明園報恩講法要に所長と担当者が参列◆復興支援の会を別院で◆少年連盟役員会を別院で。十二月二十六日の「報恩講子どもの集い」について◆26日＝大阪教区榎並組栄照寺より別院に団体参拝◆仏婦常任委員会を別院で◆27日～29日＝別院報恩講法要。講師は藤眞澄師（福岡教区福岡組専立寺）◆27日＝第二回中央推進常任委員会が本山で。久堀弘義基推委副会長が出席◆28日～29日＝第二回中央定期総会が本山で。久堀弘義基推委副会長が出席◆29日＝蓮如上人五百回遠忌法要団参事務担当者会議が本山で。安井賛事が出席◆30日＝神戸湊組蓮如上人五百回遠忌法要ご消息披露が別院で。特命布教使は藤山達郎師（神崎組乗徳寺）◆仏青委員会を別院で。十二月二十七日の「年忘れヤングひろば」開催について。（参加申し込みは、担当者長尾まで）◆30日～12月1日＝仏壮中部近畿連絡協議会が名古屋別院で。出田求理事長他三名が出席。

藤眞澄師

連日のように別院団参

保育連盟 ロスへ研修団

教区保育連盟（筑波亮英理事長）では、明年一月二十五日から三十日までの期間に、「ロサンゼルス別院参拝・ラスベガス保育事情視察研修団」を開催する。

震災後すぐに、中部カリフォルニア教区の子どもたちから、絵や手紙に託したお見舞い冊子「こころのはなたば」を贈ってもらったことにより、被災した保育園・幼稚園からお礼をこめて、子どもたちからの返事を持って行くため、研修団を結成した。併せて、アメリカの保育園を視察する予定。園外の希望者も募っている。旅行経費は、二十万円と格安。定員は三十名。締め切りは、十二月二十四日。問い合わせは、事務局（担当竹内）まで。